

第10期 修了される皆さまへ！

第9期同様にコロナ禍での開講となりましたが、受講生、クラスアドバイザー、講師、事務局等々関係各位のご尽力によって、2022年度の講座の無事修了を迎えることができました。

コロナ蔓延防止のため年度行事も、しばらく休止・中止をしておりましたが、3年振りに開催することができました。

溯ると12月15日には、「大学提携講座」も少し形を変えて実施することが出来ました。

11月30日に開催された「第7回ふれあい交流祭」では、各クラスの講座内容の紹介、パフォーマンスの披露と楽しい時間を共有され、クラスの皆さま方の交流の場となったことと信じています。

そして、11月2日には、「ONCC設立10周年記念式典・講演と音楽集い」を開催する事が出来、多数の方のご臨席を賜りましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

また、9月29日には、全クラスの皆様に一堂に会していただき、「共通講座」を開催し、箏と尺八の素晴らしい演奏と楽しいトークの時間をお楽しみいただきました。



第10期生の皆さまの講座も、残り僅かとなり1年間の集大成でもある学習成果発表会・

修了式に向けた打ち合わせ、準備作業等、多忙な日々をお過ごしのことと存じます。

寒さ厳しい時期ですが、風邪、コロナ、インフルエンザ等に負けず、お身体大切に今年度の仕上げに頑張ってください。

ONCC終了後は再受講・他校での学び・地域での活動と皆さんそれぞれ活動される場は違うとは思いますが、1年間一緒に学んだ仲間との交流の場も、持って頂ければ幸甚です。

5月の連休明けにはコロナも第5類(インフルエンザ)になるそうですが、我々シニアにとってはまだまだ安心はできません。個々人が、気を緩めずに注意して活動して頂く事を願っています。【理事長 猪谷義弘】

～ 1年の講座を終えて！ ～

アクティブシニアをめざす科 (大阪府シルバーアドバイザー養成講座) 豊中教室

～ キャリアを活かして地域で共生 ～ 【担当CA：高山アケミ、吉水希代子】

2019年春以来、コロナ感染予防での授業対応。この1年もコロナで始まりコロナで終わろうとしています。

国のコロナに対する施策も変わりその中でもリスクの高い私たち高齢者は体温測定、手指消毒、マスク着用、黙食等を守ってきました。

コロナ当初に比べると出来る事も少しずつ増えてきました。ふれあい交流祭の準備、あーでもない・こーでもない熱心な共同作業、現場を見る事ができる施設見学、共通講座、大学提携授業どれをとっても肌で感じられる講座はとて大切だと感じました。午後からのボランティアグループとの交流、体験講座等座学だけでは得られないものが沢山ありました。今期も残すところあと僅かとなりました。

後は成果発表に向けてラストスパートです。楽しみにしています。【文：CA 吉水希代子】

水彩科 吹田教室

～ 初歩から上級者まで楽しく学べます ～ 【担当CA：笹部美根子、藤原清子】

水彩科の活動は、指導の先生のユーモアかつ軽快なトークに導かれ、講義や実技、郊外でのスケッチなどを通して、個性豊かな受講者同志が共にコミュニケーションを深め合った一年でした。

絵の具を使うのは何十年ぶりという初心者には、多年の経験者がそれとなく寄り添い、「他との比較」や「上手下手」ではなく、その人なりの個性が自分の絵になるのだという指導指針も、受講生のやる気を継続させてくれたと思います。

何よりも、自分が手掛けた新たな作品がこの世に生まれ、そして少しずつ進歩し、自分に上手く描けた日もあれば、自信を無くすこともあります。年齢に関係なくクリエイティブな感覚を学び取れたこ



講義風景

とが大きな喜びでした。そしてまた、私たちの活動を支えてくれたアドバイザーの方のご支援があってこそその一年でもあり、深く感謝を申し上げます。【文：受講生 服部利昭】

美術アドバンス科 高槻教室

～ 個性の再発見 ～ 【担当CA：中野保子】

学期が始まった4月当初、ひとりCAで心細さ、気持ちの不安さが受講生に伝わったのか、感じられたのか？クラス運営で、もたつきました。



作品の講評風景

教室の受講生の皆さんは熱心で、出席も毎回全員出席が続きました。授業中も先生の話に集中し、自分達の描く事にも集中されていました。美術アドバンスの受講生はさすが！と思う事が毎回です！

先生のアドバイスを受けて、手直しが入ると一段と素晴らしい作品になっていきます。自分の作品を仕上げるのに全力を尽くされている様子が、そばで見ているだけでも感じとられます。それが出来る方達です！ただ残念な事にその集中力を教室外

や、ONCCの他の行事にも出して頂けたらと思いましたが、校外学習、共通講座、大学提携等、出席が少なかったのが残念でした。今後の課題になると思います。

一年間、いろいろありましたが楽しく過ごせた事 皆さんに感謝致します♪ 【文：CA 中野保子】

身近な問題を素早く解決 豊中教室

～ 不安や心配を安心に変える ～ 【担当CA：吉岡英機、岩田美弥子】

この講座の参加者は、わずか18名でしたが、それぞれ個性豊かな方々が揃っておられたこともあり、毎回の授業が楽しくあつという間の1年間でした。

カリキュラムも綿密に練られていて、テーマが多岐にわたっていた割には、深く掘り下げられて、毎回新たな発見があり、知的好奇心が満たされました。

講義テーマは、健康、終活、環境の3つでした。1つ目の健康では、死ぬまで人の世話にならない体力と精神力を保ち続けることがいかに大切か学びました。椅子ヨーガも頑張ります。2つ目の終活では、私の宝の山が死んでしまえばゴミ屋敷となり、処分に多額の費用がかかり子供たちに負の遺産となることわかりました。断捨離頑張ります。3つ目の環境問題では、いかに子孫に、この素晴らしい地球をよい状態で受け渡していくか、我々の責任でまずSDGsの取り組みが必要なことを知りました。このためにもスーパー等の食材は「手前から取る」を実行します。

さらに、原田下水処理場、中之島美術館、吹田のくるくるプラザなどの社会見学やふれあい交流祭に学習成果発表会も楽しい思い出となりました。

最後に、お世話になったCAの吉岡さん、岩田さんありがとうございました。【文：受講生 松田興一】



醸造の世界を楽しむ科 豊中教室

～ 発酵から日本の匠を知る ～ 【担当CA：野田則子、山岡美之】

1年が早いですね。昨年はコロナ対応で無我夢中で走り回った印象が強く残っていますが、今年は順調にスケジュールが進み、あつという間に終了式を迎える印象です。



漬物づくり

受講生数は半減し、どうなるだろうとの不安もありましたが、熱心に学ばれる姿勢には感銘しました。

今日の一言ではひと悶着ありましたが、結局最後までほぼ全員が提出し、貴重な意見を頂きましたし、ふれあい交流祭において当初はネガティブな意見が多かったのですが、班長の皆さんのリーダーシップもあり、最終的にはまとまった対応と運営を行い、成功裡に収めることができましたと思います。

それにしても皆さん、良く呑まれました。ただ、それなりの年代ですので醸造で学んだ上手な呑み方を実践していただき、健やかライフを送って頂きますようお願いいたします。

1年間、ありがとうございました。【文：CA 山岡美之、野田則子】

生演奏で楽しむ音楽科 池田教室

～ 心豊かなひととき ～ 【担当CA：中村りう子、奥野初美】

講義は毎回、ジャンルの違う音楽講師、プロ演奏家が2時間弱、曲の背景や、歴史、楽器の特徴など、興味深い話が多く、好奇心は満たされ、また 演奏や独唱も小さいホールで、間近で聴く迫力に感動しました。

午後からの自主活動は、前もって班が構成されていた為、ぎこちなくスタート。CAも未経験で体当たり、受講生は当初から逃げ腰、避ける方もおられ、かなり無理が有ると感じました。また午後からの活動は必要ないという声も聞こえてきました。

そして ふれあい交流祭のパフォーマンス発表会、準備委員の皆さんの最後まで熱心な取り組みには敬意を表します。無事に終わりましたが、開催趣旨のアピールが弱く、少し寂しく感じました。高齢者といえども舞台に立つのは初めての経験で、ためらう方が多いでしょう。このような機会を設けるのは賛成ですが、参加している学科の方々の指向性が違います。気軽に参加できるようなテーマ設定であれば親和性のあるコミュニケーションができると思います。



ONCCの高齢化社会での意義は大きく、理念にも叶うものかと思い、色々考えさせられました。有難うございました。今後の益々のご発展を祈念いたします。【文：受講生 松尾信一】

いきいきボイストレーニング 池田教室

～ 楽しく歌ってアンチエイジング ～ 【担当CA：渡辺まり子、藤原清子】

私は、「歌がうまくなりたい」という淡い期待を抱いて、「いきいきボイストレーニング科」を受講しました。講師のすばらしい声に衝撃を受け、「ヨーシ！」と気を引き締めて授業に臨みました。

ボイストレーニング科の最初の山場は、全員が舞台に立って演技と歌を披露する「ふれあい交流祭」です。交流祭では、一人一人が学科の内容を紹介し、そして遠くで指揮される先生を見ながらピアノ伴奏に合わせて口を大きく開け、腹から大きな声を出して謳うことができ、私だけでなく仲間の人も大感激していました。

最終講座では、この科にある三つの班が各々歌を披露するという最後の山場になりました。我班は最後の歌として森山直太郎の「さくら」に挑戦、その歌の前半部分は朗読、後半は班の人が詠うという方法で挑み、無事終わることができて喜びを

分かちました。最後は受講生全員で「思い出のアルバム」を当学科に変えた歌詞で大合唱。シニア仲間と共に「青春」を謳歌できた刻であります。【文：受講生 鈴木次郎】



ぶらっと散策3 吹田教室

～ まち歩き・里山歩き ～ 【担当CA：神谷和男、伊藤康太、宮川摂子】

ぶらっと散策3では、地元のガイドさんにお世話になる事が多く、いろいろな市のエピソードを聞きました。

ガイドさんは、町の歴史をより知ってもらうために活動しておられます。自分の町に対するプライドも高く、隣町とのライバル意識も感じられました。手塚治虫記念館が宝塚市に建てられた時、豊中市に建てられてもおかしくなかったのではないかと思った人もいたのでは？手塚は5歳まで豊中で育ち、その後は25歳まで20年間宝塚で育ったのです。その事実を知ると、仕方がなかったと思わざるを得ません。

寅さんシリーズで著名な山田洋次監督を豊中の名誉市民に選んだエピソード（2歳まで豊中に居たが、その後満州に移住し、岡町の父が設計した現存する昭和6年築の家を探していた。）を聞きました。この家（山田監督の作品『小さなおうち』のポスター画になっている）を発見し、市役所に届けたのは近所のおばさんでした。後に監督自身がこの家を見に来て、感激しています。

そんな隠れたエピソードを探しながら、今日もぶらっと散策に出かけます。【文：CA 神谷和男】



関西の城探訪科 茨木教室

～ 現地に行って、武将の夢を実感 ～ 【担当CA：佐藤敬一、福原 寛、井出暁美】

2022年度の講座も無事に成果発表会・修了式を迎えました。コロナ禍でも受講生の学ぼうとする熱い想いに支えられて、「関西の城探訪科」も予定された講座と探訪を有意義に実施できました。



大河ドラマや城・石垣のブームにも支えられ、事前の講義を生かして自分の足で山道を登ったり、城郭を歩いたりしました。自分の目で見て聞いて感じるにより、新しい体験をすることができました。昔と同じ経験ではなく、それぞれの新しい自分自身の再発見でした。

何も残っていない城跡や、古い石垣の姿から、歴史のロマンを想像し、その息吹を感じるこそが「歴史探訪—城探訪」の重要なテーマです。それぞれが知的好奇

心を持ち続けることが「探訪」の目的ではないでしょうか。【文：CA 福原 寛】

特別年度制講座 争乱の古代史 豊中教室
～ 古代のロマンを学ぶ ～ 【担当CA： 小山哲夫】

私達のクラスは総勢23名、内女性は4名で、少ないけど素敵な人ばかりです。クラスとしての活動は有りません、班別活動のみです。

時代は卑弥呼から平安時代初期までで、その時代の人物、争いについて学びました。

学んだ人物は、神武天皇、ヤマトタケル、神功皇后、大日下王、倭の五王、盾輪王、円大臣、雄略天皇、継体天皇、聖徳太子、物部守屋、曾我馬子、曾我入鹿、持統天皇、聖武天皇、道鏡などです。

卑弥呼の九州政権は卑弥呼の没後滅亡しました。

ヤマトタケルは、西へ東へ散々こき使われた挙句、疲れ果てて伊吹山で没しました。伊吹山の頂上に像があります。

雄略天皇は権力欲が強く猜疑心の固まりのような人で、ライバルは皆殺しにしました。結果この人が亡くなると跡継ぎがなくなった。そこで、大伴金村が応神天皇の5世孫が、若狭、近江にられる筈ということで、探し出したのが継体天皇で、高槻市にお墓(今城塚古墳)があります。【文：CA 小山哲夫】



特別年度制講座 激動の幕末・明治維新史 茨木教室
～ 激変の時代を学ぶ ～ 【担当CA： 佐藤敬一、中野保子】

特別短期の新しい学科としてスタートしましたので、CAとしては緊張感がありました。その緊張感も先生の講義と受講生の集中力で、一日で払拭されました。

先生の講義にはジョークもあり、事件の和暦、年月日、藩名、参加者の身分、氏名等が縦横無尽に出てきました。

登場人物が関係した藩、関連する人脈や背景もスムーズに出てきますので、受講生の方は、筆記をするのが大変だったと思います。

午前中の講義の他に、午後からの班活動では短い時間を有効に使い、講義に関連した地域を探訪して、時代の流れや背景を確認して、今まで記憶していた知識と異なる面での幕末史と明治維新史を学べたことと思います。

学識の深い先生の講義と、講義に集中する受講生に恵まれて、CAとして本当に幸せでした。お二人の先生と受講生の皆さんに、心より感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。【文：CA 中野保子、佐藤敬一】



特別短期講座 ミュージアムへ行こう 豊中教室
～ アートを見て感じて ～ 【担当CA： 岸本佳奈子、廣瀬雅人】

「ミュージアムへ行こう」は、事前学習と鑑賞会でアートを鑑賞し学ぶ講座です。

事前学習では主に美術館・博物館の学芸員に来て頂き、貴重なお話を伺う事ができました。それにより展覧会ではより深く作品を理解する事ができたと思います。

また、新しくオープンした大阪中之島美術館や藤田美術館など4つを含め、全部で11館のミュージアムへ訪問。フェルメール、アンディ・ウォーホル他、素晴らしい作品に沢山出会えました。秋には六甲山へでかけ、野外展示の現代アートを鑑賞した事も新しい経験だったのではないのでしょうか。

最後にCAとして1年間無事に楽しく過ごせた事を感謝します。各班長が毎回班員へ伝達や出席確認し、会計委員が入館料を集金し、ひと言委員は講義毎のひと言を取りまとめ、広報委員はブログ作成し、全員が教室準備のお手伝いと、受講生それぞれが役割をキッチリと担って下さったおかげです。ありがとうございました。【文：CA 岸本佳奈子】



特別短期講座 わくわくドキドキ楽しいアウトドア科 吹田教室
～ アクティブスポーツで仲間とエンジョイ！ ～ 【担当CA： 立岡 武、松本康子】

カヤック体験



今期初めての学科で、活動内容は手探り状態(日時の予約が取れなかったり、予算に合わせるように交渉したり)と苦労は多少有りましたが、次期に備え短期学科ではありましたが、各班で役割を設け活動してきました。

「今日のひと言」の感想は各班順番に書いていただきました。受講生の皆さんの声を参考にし、安心、安全を最優先で進めてきました。特に怪我も無く、仲間づくりや、体力維持等出来てうれしく思います。

活動は、カヌー、クッキング、ハイキング、パラグライダー、キャンプ等屋外活動を中心に、ワイワイ、ガヤガヤ皆さんと一緒に楽しく活動。

シニアの健康・体力を学んで、自分の体力を確認し、加齢による衰えを少しでも遅らせ、「わくわくドキドキの楽しいアクティブライフ！」を継続出来るよう、お手伝いできればと思って過ごしてきました。

来期に向け、受講生の皆さんが楽しめる「内容」を考えながら、「元気なシニア」「いきいきシニア」を目指して活動して行きたいと思います。【文：CA 立岡 武】

特別短期講座 フランス文化に親しむ科 東淀川教室 ～ フランス文学・文化 ～ 【担当CA：桐澤久子】

コロナ禍、又世界に目を向ければ不穏な世の中でしたが、フランスの華やかな一面だけでなく、今日のパリの歴史とそれに大きく関わりを持つ人物。流石はフランス！地下に無数に眠る骸骨までもが観光スポットになり、その歴史的背景を知る上での重要な要所をなしています。

パリは何と言ってもファッションの都です。フランスの文化は全て 目先の欲望だけではなく、全てが長期的な視点で形成され、今日のフランスが形成されている事実を知るにつけ、只々感銘を受けました。

39名の受講生さんは熱心に講義をお聞きになり、「今日のひと言」には理解し易い先生の講義への感謝と、建設的なご意見を沢山頂きました。【文：CA 桐澤久子】



特別短期講座 日本伝統芸能の魅力に迫る 茨木教室 ～ 日本の伝統芸能を学ぶ ～ 【担当CA：黒木武紀】

今期もコロナに悩まされると思っていたのですが、お陰様で講座日を変更することもなく無事に終えようとしています。



講義では講義後のひと言感想や、質問に対して丁寧な講師の解説などで、受講生の皆さま 楽しく学べる教室となったと思います。

白足袋を履いて能楽堂の舞台上に上がり感触を体験し、予定した劇場に出かけて文楽や狂言、能の鑑賞が出来たことは思い出に残ります。

ただ心残りなことは受講生と講師を交えた懇親会の場がコロナ禍で持てなかつたことです。素晴らしい講師と受講生の皆さまに恵まれたことに感謝、ありがとうございました。【文：CA 黒木武紀】

特別短期講座 再発見！なんでも見てやろう 現地集合 ～ 手軽に楽しみましょう ～ 【担当CA：池上憲治、石黒洋子/山上田起子、林 純二】

この10期は多くの人達の協力のもと、多方面に展開する事が出来ました。

京都・泉涌寺、神戸布引ハーブ園、大阪港サンタマリアクルーズ、劇団四季・オペラ座の怪人、信楽・ミホミュージアム、日本センチュリー交響楽団、丹波篠山城下町、鶴見緑地公園が12月までで、いずれも好評を得ています。1,2月は京都・島津製作所創業記念資料館と奈良・天理参考館、天理教本部の予定です。

池上憲治：受講生の人達は、回数を重ねるにつれて、仲間づくりが順調に進んでいて楽しそうです。

石黒洋子：皆さん、兔に角よく歩かれます、まったく苦にはならない様子です。見聞を深める意欲も大。

山上田起子：受講生の方々は毎回の見学旺盛で遠い道を熱心に来られて、帰途は楽しそうにグループに花が咲いたようです。

林 純二：晴れの日もあり、雨の日もあり、受講生の皆様と共に各探訪を楽しみました。

【文：CA 池上憲治、石黒洋子、山上田起子、林 純二】



懐徳堂記念会協力講座 総合文化を学ぶ科 豊中教室 ～ 面白いが止まらない ～ 【担当CA：山田豊実、田中美千子】

総合文化を学ぶ科は、講師はすべて大阪大学の関係者にお願いしており、大部分の講師は大阪大学の現役の教授、准教授で、とてもレベルの高い講師陣です。10月末に講義していただいた秋田 茂教授は、次の週に紫綬褒章受章のマスコミ報道がされたこともありました。

講義内容はとても充実しており、最新の学説やいろいろなエピソードなど、他では聞けない興味深い話をたくさん聞く



ことができ、受講生から面白かったとの声もしばしば聞きました。受講生の満足度も高いためか、今年度の受講生の約半数は前年度から継続の受講生です。

今年度は未だ新型コロナが十分終息せず、講義で紹介された施設などに、受講生が班ごとなどの小グループで見学に行き、親睦をさらに深めることがなかなかできなかったのが残念でした。来年度はこうした環境が改善されることを期待しています。【文：CA 山田豊実】

オンライン講座 日本史をにぎわせた女性たち(平安中世近世編)

～ 時代を生きた女性達に和歌と共に想いを馳せる ～ 【担当CA： 口村泰子】

Zoomでの講座進行もCAも初めてのことでしたので、戸惑いと緊張のなか4月がスタートしました。林先生が用意くださる資料は写真やイラストを多用した美しいもので、毎回歴史上の女性ひとりを丁寧に解説され、ロケでの現地紹介も大変好評でした。講座後にお寄せ頂く「今日のひとこと」は深い内容のものが多く、皆様の学習意欲の高さを感じられました。

コロナの感染状況によるスケジュール変更が無く、再視聴も皆様に有効にご活用頂けたと思います。

ひとつ残念だったのは「オープン講座」の受講が少なかったことです。オンラインチームのサポートがありますので、次の機会にはぜひお試しいただきたいと思いました。またCAの活動はメールによる資料等の配布や講座進行が主なものではありませんが、受講生の時には見えていなかった業務が多くあることを学んだ1年でもありました。【文：CA 口村泰子】



オンライン講座 世界遺産を旅する科

～ 今、後世に遺すために知っておきたい、見ておきたい ～ 【担当CA： 千種里子】

世界遺産登録の意義や流れまでの基礎知識を学び、5月には京都での受講生との対面授業を行い、日本の自然遺産・文化遺産と進んで行き、現在は世界遺産の文化や風習・宗教や歴史・絵画彫刻など多岐にわたり学んでいます。



先生が実際に行き見てきた世界遺産やハブニングなども「旅する」に相応しいお話を伺って毎回ワクワク。

講座で得た知識で世界遺産巡りなどいかがでしょうか。今までと違った「旅」が出来るのではないのでしょうか！

オンラインと言うと躊躇う方も多いと思いますが、外の環境に影響されることも無く、どこにいても、たとえ当日講座を受講できなくとも、一週間の再視聴期間に

て学んでいます。【文：CA 千種里子】

オンライン講座 総合文化を学ぶ科ハイブリッド

～ 名物講座がご自宅で楽しめる ～ 【担当CA： 藤林香澄】

オンライン講座はWi-Fiが命綱、中でも年度制講座をオンラインで配信しているハイブリッド講座は再視聴がセットされない為、本番が命。Wi-Fiが不安定な時は、特に緊張しながらの講座進行です。

現地スタッフが朝早くから会場準備をし、司会は自宅でオンラインの受講生を迎え入れ、講義が始まります。プロでなくてもこんな事が簡単に出来る世の中、付いていくのが精一杯の私ですが、オンライン・スタッフの協力の下に大きなトラブルもなく終えられることに安堵し、感謝致します。ご視聴頂いた受講生の皆様に、楽しんで頂ける講座となったのなら幸いです。

オンラインに関わり、私自身の世界観も広がりました。新しい事への挑戦が生き生きライフに繋がり、若くいられる秘訣なのでしょうね！(^_^)!

* オンライン講座は、自宅での受講です。メールに届いたURLをクリックするだけで講座視聴が簡単にできます。出かける準備も、会場に出向く時間も不要。何ならパジャマのままでも視聴できる手軽さが、最大のメリットの講座です。

新しい事への挑戦の一歩として、オンライン講座を一度体験してみてください。

きっとヤミツキですよ！ 【文：CA 藤林香澄】



～ ONCC 設立10周年記念式典と講演・音楽の集い ～

日時:2022年11月 2日(水曜日) 13:00～16:00 / 会場:豊中市文化芸術センター大ホール

【第一部】式典

猪谷理事長の挨拶に続いて、ご来賓の方々からの祝辞をいただきました。引き続き、祝電披露、客席前列のご来賓の方々の紹介があり、ONCC設立以来多くの方々にご協力、ご援助をいただきましたが、とりわけ多大なるご支援をいただいた3名の方々に感謝状が贈られました。また、長年にわたりONCCの運営に尽力された10名の方々が功労表彰されました。



ご来賓の方々



桜井博志氏



【第二部】講演

講師は旭酒造株式会社社長、日本センチュリー交響楽団理事長桜井博志様で、「ピンチはチャンス」というテーマで「海外進出には、文化の後押しが必須であり、大阪の文化を大切にする土壌を大切にしていきたい。」とお話いただきました。

【第三部】音楽の集い

はじめに、センチュリー・ユースオーケストラの皆様によるバイオリン六重奏をお楽しみいただきました。次に日本センチュリー交響楽団の皆様によるピアノ三重奏をお楽しみいただきました。



スマホのカメラでQRコードを読み取ってください。



バイオリン
六重奏



ピアノ三重奏



～ 第7回 ONCC ふれあい交流祭 ～

日時:2022年11月30日(水曜日) 11:00～15:30 / 会場:吹田市文化会館(メイシアター)

【開会式】

この2年間コロナの影響等により開催できなかった「ふれあい交流祭」が、受講生をはじめとして、関係各位の協力を得て、3年ぶりに開催されました。

最初に「ぶらっと散策3」受講生の吉田実行委員長から開会の挨拶があり、引き続き猪谷理事長の挨拶がありました。更に多数の実行委員の中から代表の5名の方の紹介があり、開会式を終えました。



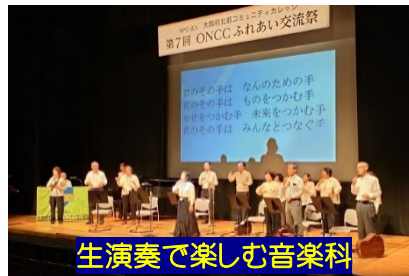
吉田実行委員長



パフォーマンスを楽しむ受講生の皆さん

【パフォーマンスの部】

開会式に引き続き、受講生の皆さんにより、各学科の紹介/リコーダー演奏/スコープ三味線/合唱/水彩画デモンストレーション等のパフォーマンスが紹介されました。



生演奏で楽しむ音楽科

【展示の部】

各学科の活動内容の紹介・作品の展示、並びに地域活動推進部・友好団体の活動内容が紹介されました。



展示の準備風景



おもちゃづくり実演



パッチテストを受ける皆さん

～ 2022年度共通講座 ～

日時:2022年 9月29日(木曜日) 13:00～15:10 / 会場:豊中市アクア文化ホール(中ホール)

講師:片岡リサ氏 大阪音楽大学特任准教授

:安田知博氏 尺八奏者

テーマ:「日本伝統和楽器の演奏」 ～箏・尺八の魅力を知ろう～

猪谷理事長より「3年ぶりに、やっと皆さんが一同に会して、このような形で共通講座という催しを開かせていただくことが出来、ほんとに嬉しく思っております。ゆっくりと楽しんでいただいて、心すっきりとして帰っていただきたいと思います。」と開演の挨拶がありました。



講義に聞き入る受講生の皆さん

【琴の部】

「さくらさくら」の演奏で片岡先生の講義が始まりました。

琴の構造、音の出る原理、音色を変える方法等々興味深い講義と「六段の調」、「千鳥の曲」の他に、宮城道雄作曲「祭りの太鼓」、「アメイジング・グレイス」を演奏していただきました。「アメイジング・グレイス」は英語で歌いながら演奏と、すばらしい歌唱も披露していただきました。



♪♪ 千鳥の曲演奏 ♪♪が聞けます！
スマホのカメラでQRコードを読み取ってください。



【尺八の部】

「昼の憩いのテーマ曲」の演奏で安田先生の講義が始まりました。開口一番、ご自身のことを「世界一しゃべる尺八奏者」と言われただけあって、ユーモアを交えた軽快な語り口です。

4年に一回「世界尺八サミット」が世界のどこかで開催されるほど国際的に人気の高い尺八の構造、演奏方法等の講義と、「月光弄笛」、「手向け」の演奏の他に、「笛吹童子」、「夢芝居」、「木綿のハンカチーフ」の演奏を織り込みながら楽しく講義をしていただきました。



♪♪ 月光弄笛の演奏 ♪♪が聞けます！
スマホのカメラでQRコードを読み取ってください。



～ 2022年度大学提携授業 ～

日時:2022年12月14日(水曜日) 10:00～11:40 / 会場:豊中市アクア文化ホール

講師:山口洋典氏 立命館大学 共通教育推進機構教授

テーマ:「まちの物語を紡ぐということ」 ～ネットワーク型のまちづくりの意義～

急に寒くなったにもかかわらず沢山の受講生の方が参加されました。

山口教授が少し体調をくずされ、皆さんにご心配をかけるのではということで、急遽ZOOMによる授業となりました。

講義は、「ボランティア活動と関わるようになった出来事」、「あなたならどうする?というQ&A」、「福島県楢葉町での学生たちの活動」、「ネットワークの三原則」など、動画も交えて非常にわかりやすく教えていただきました。



山口教授

ご寄付のお願い

ONCCでは、地域社会活動として地域の多世代交流(こどもからシニア世代)のコミュニティ活性化に取り組んでいます。ONCCの活動にご支援をお願い致します。

詳細は、右のQRコードより確認してください。



編集後記 : ゴールデンウィーク後に、新型コロナ感染症を5類扱いとする方針が政府から示され、ウィズコロナに向けて、そしてコロナ禍からの脱出の兆しが見えてきました。ONCCでも昨年度は、皆様方の協力を得て、年度行事が復活・開催され、少しずつコロナ前の活動に戻りつつあります。来年度こそは、基本的な感染防止対策に留意しつつも、気軽に外出し、お友達と交流できるといいですね！(浜)